

## 6. まとめ

### 6.1. 本業務で実施した内容

本業務では、「ハイブリッド型位置特定に関する技術資料」を応用し、凍結防止剤散布作業の効率化に向けて、以下に示す項目について検討整理した。

- 凍結防止剤散布作業支援システムの開発
- 現地実証試験

#### (1) 凍結防止剤散布作業支援システムの開発

凍結防止剤散布作業支援システムの要件定義を検討した上で、以下に示すものを製作した。

- 操作支援システム
- 計画支援システム
- 巡回支援システム

#### (2) 現地実証試験

凍結防止剤散布車へのシステム機器の取り付けを行い、北陸地方整備局 長岡国道事務所 長岡国道維持出張所 国道 8 号（宮本工区）において、現地試験を実施し、実道でのシステムの性能を評価した。

### 6.2. 今後の課題

本業務の検討成果を踏まえ、今後においては、次に示す課題に取り組む必要がある。

#### (1) 凍結防止剤散布作業支援システムの実導入技術サポート

- 現場において、凍結防止剤散布作業支援システムを導入する際、技術的な側面でのサポートを行う必要がある。

#### (2) システム蓄積データを活用した効率的な凍結防止剤散布作業

- 凍結防止剤散布作業支援システムでは、散布履歴や道路巡回日誌で収集した気象データを蓄積する。実導入した事務所においては、これらのデータの他、道路交通データや各種気象データを活用し、凍結防止剤散布作業の評価や作業改善内容の把握を行い、凍結防止剤散布作業の効率化に努める必要がある。